

分野：②

親子でくぬぎ山の枯れたあか松を切り出し虫探しをしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 風の森狭山台みどり幼稚園
もみじ組親子（37人）

所要時間



1時間30分

場所 くぬぎ山（所沢市下富駒ケ原）

実施時期

令和3年11月16日

概要

自然再生事業が行われているくぬぎ山（所沢市下富駒ケ原）で、親子で枯れたアカマツを探し、絡んでいるクズを取り除き、外来種のキクイモを抜きます。

プログラムの
ねらい

10年前に小学生の植えたアカマツが枯れないようにクズを取り外します。草地では、秋の虫を探しながら外来種のキクイモがたくさん生えたので、スコップとシャベルを使って取り出します。

プログラムの内容

1 くぬぎ山の説明（5分）

かつては産業廃棄物の煙突から黒い煙がたくさん出ていたが、所沢市が中心になって自然再生事業が進められている。

2 アカマツに絡んでいるクズを取る（30分）

小学生が植えたアカマツとつる植物のクズを見つける。
アカマツの枝が折れないように丁寧にクズを取り外し、
形を整え、根元に落ちていた松ぼっくりをつけてクリスマスリースの完成。

3 外来種のキクイモを取る。（40分）

キクイモは繁殖力が強いので、スコップとシャベルを使って土の中に隠れている芋の部分掘り出す。
洗って茹でれば食べることができる。

4 原っぱで秋の虫探し(15分)



受講者の反応

こんなに広いところが守られたことに感謝します。クズがアカマツを枯らすことも知りませんでした。クズを取り除くだけでなくリースが作れるとは！原っぱを駆け巡ることも達の姿に喜びがこみ上げてきます。幼児期になかなかできない体験をでき嬉しです。

こどもがスコップやシャベルを使えるようになるなんていつもありがとうございます。